

審 議 会 等 の 会 議 結 果 報 告 書

		課所名	健康推進課
会 議 名	令和7年度 第3回 諏訪市健康づくり推進協議会		
開催日時	令和8年2月19日(木) 午後1時30分 ~ 午後2時45分		
開催場所	諏訪市保健センター2階 多目的ホール		
出席者	<p>(出席者)</p> <p>協議会委員：</p> <p>小林良清委員、 高林康樹会長、 清水俊樹委員、 笠原健一委員、 福田和博委員、 清水弘枝委員、 伊藤美保委員、 河西秀樹委員、 進藤久美委員、 矢崎敏江副会長、 伊藤隆委員、 上井美保委員、 五味武嗣委員、 宮下和昭委員、 平林一郎委員、 小島光治委員、 宮野孝樹委員</p> <p>後藤慎二副市長、 濱秀憲健康推進課長、 矢澤祐美健康予防係長、 小口直子健康支援係長、 笠原和洋健康予防係主査 吉田祥子健康予防係主査</p> <p>(欠席者)</p> <p>協議会委員：折井こずえ委員</p>		
資料	別添		
協議議題（内容）及び会議結果（要旨）			
1. 開会（健康推進課長）			
2. 副市長あいさつ（副市長）			
<p>本日は、大変お忙しい中をお集まりいただき、ありがとうございます。また、委員の皆様方には、常日頃、諏訪市の健康づくりや保健衛生行政にそれぞれの立場や分野でご尽力いただき、感謝申し上げます。</p> <p>さて、テレビでは、ミラノ・コルティナオリンピックの様子が報道されている。当市と関係のある選手として、スピードスケートに2名が出場した。本当に感動のレースを見させていただき、胸が熱くなった。心と体が丈夫であることが、全ての基本だと改めて感じた。</p> <p>本日の会議では、健康すわプラン2026の策定の承認を受けることになる。健康づくり計画、食育推進計画、自殺対策計画の三つの計画をまとめるため、それぞれの専門委員会で検討していただいたものを最終的に認めていただく場面になる。これまでの皆様のご尽力に感謝申し上げますとともに、本日、承認をいただいた際には、この計画に沿って、市行政としても、さらに健康づくりを前に推し進めていきたいと思うので、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。本日は、よろしく願いしたい。</p>			
3. 会長あいさつ（高林会長）			
<p>本日は、大変お忙しいところ、また、年度末に近い日にお集まりいただき、ありがとうございます。副市長からご案内があったとおり、健康すわプラン2026として、新たに5年間の計画が始まることになる。本日は各分野の委員の方々に集まっていたため、忌憚のない</p>			

意見を出していただくことのできるように会議を進めていく。本日は、よろしくお願ひしたい。

4. 議事（進行:会長）

(1) 健康すわプラン 2026 の策定について

■事務局より説明

■質疑応答・意見

【委員】実際に計画を推進していくための実施体制の記載が必要ではないか。食育計画では、市役所の中でも健康分野だけではなくて、教育や農政、環境などが関係するし、自殺対策計画では、経済的な問題や法律の問題など、市役所全体の問題でもあると思う。庁内で横の連携を図った上で、計画を推進する体制が必要だと思う。また、計画は5年ごとに作成しているので、次は5年後に計画を評価するとなると遅れてしまうので、基本的には毎年確認をする評価のプロセスが必要であるため、記載をお願いしたい。

【事務局】ご意見のとおり、計画の本文には記載をしていないため、資料編に追加するように修正する。なお、計画の進捗管理については、健康づくり計画は、健康づくり推進協議会において、毎年報告をさせていただく予定である。食育推進計画と自殺対策計画については、来年度以降も引き続き専門委員会を設置し、各委員会において進捗管理を行い、その内容については、健康づくり推進協議会に報告をさせていただきたいと考えている。また、庁内の連携に関しては、食育推進計画の専門委員会においては、関係課との会議を設けており、会議後に専門委員会に諮るようにしている。引き続き、このような体制を整えていく。自殺対策については、以前から自殺予防対策推進協議会で毎年の進捗管理をしており、庁内の関係部署には毎年実施した内容の評価を出して、協議会に報告をしているため、今後も専門委員会において、同様に行っていく。また、各委員の所属団体における取組状況を毎年お聞きして、自殺対策を進めている。

【委員】資料編の続きに入れた上で、冊子にするということか。

【事務局】そのとおりである。

【委員】計画の中身はもちろん大事であるが、併せて策定経過や推進体制、評価が非常に重要であるため、次回以降は計画の最初のほうに書くといいと思う。今回、三つの計画を統合することで、重なり合う部分を省くことにより、スリム化できるメリットがあると思う。まとめて作ったことのメリットについて、どう受け止めているか。また、今後の推進に当たってこのメリットをどのように活かしていくか教えてください。

【事務局】今回、健康づくり計画と食育推進計画、自殺対策計画を統合したことによる最大のメリットは、この三つ全体の進捗管理を行うことができる点である。健康づくり推進協議会において、全体の管理をしていくことにより、保健行政に係る統一的な進捗管理ができる。なお、食育推進計画と自殺対策計画については、健康づくり推進協議会の下部組織として、専門委員会が組織されているため、各専門委員会においてしっかりと進捗管理を行い、健康づくり推進協議会においては、全体の進行管理を行うというすみ分けができる。

【委員】概要版をホームページで公開するとのことであるが、実際に市民の皆さんが計画をどう活用していくか周知をしていくことが必要である。市民がやること、地域の方々がやること、家庭でやることなど、ポイントを絞った啓発や広報をどのように考えているか教えてください。

【事務局】新年度の広報において、健康づくり計画の策定に関するページを設けているため、個人や家庭の取組を中心に、市民の皆さんに取り組んでいただきたいことを伝えていければと考えている。

【委員】若い人たちにはホームページや SNS による情報はいいと思うが、高齢の方にはやはり紙ベースでの情報が必要である。今の時代はちょうど過渡期であり、両方が必要になると思うため、広報に掲載して情報を流すとのことであるから、実行してください。

(2) 新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について

■事務局より説明

■質疑応答・意見

【委員】内容は、国や県の内容に則して作られているとのことであるが、今回のコロナの対応で、市の皆さんが特に苦勞された点がいくつかあると思う。一番はワクチン接種であり、市町村が主体となって行う中で、大変苦勞して準備等をしていただいたと思う。内容を見ると、かなり一般的なことにとどまっていて、例えば会場をどのように確保するのか、予約システムをどうするのか、接種する従事者をどのように確保のかなどをもう少し具体的に記載してもいいのではないかと思う。もちろん実際にはそのとおりになるかはわからないが、コロナ前の計画と同じ内容になるところもあるため、気になった。関連すると、例えば市町村で苦勞したのは、市町村が持つ公共施設をいつのタイミングで利用制限をするか、再開をするか。また、学校については、市町村立学校は県の教育委員会の方針等もあったと思うが、市町村として決めなければならない部分もあった。自宅で療養している方が一気に増えて、その人たちの食料や生活用品などの物資の配達の課題もあった。コロナの経験をして特に苦勞した点について、もう少し書き込むか、書き込むことが難しいのであれば、コロナの場合はこのようにしましたというコラム的な位置付けで書き留めておいたほうがこの計画が実際に使われる際、見たときにわかると思う。時間的な制約により記載することが難しいようであれば、別冊資料など、コロナの経験が今後活かされるようにしていくといいと思う。また、訓練の実施について、改定前の計画にも記載があったと思うが、実際に行うのは難しかったと思うため、本当に訓練を行う予定があるのか教えてください。

【事務局】市町村が実施主体となったワクチン接種については、医師会のご協力をいただきながら、連携を図り、実際に事業を進めたところである。その際の経験の部分であるが、今回の計画は、国からガイドラインが示され、統一的なガイドラインを踏まえて案を作成したものである。それ以上の細かい経験等の具体的な部分については、市として記録を残しており、医師会においても、コロナの経験をまとめた冊子を作成していただいております。コロナに関する経験は、逐次、蓄積されていると認識している。今回の計画案については、国のガイドラインにできるだけ沿ってという趣旨の下に作成をしている。計画の構造の基本的な考え方として、柔軟な対応ということが一つあり、いくつか選択肢が羅列されている。実際にことが起きたときに、その感染症に沿った対応を選択肢の中から選択していくことが実践的な考え方になると考えている。

(3) 令和8年度 実施事業について

■事務局より説明

■ 質疑応答・意見

特になし。

5. その他（健康推進課長）

今年度の協議会については、本日をもって終了となる。同時に、皆様をお願いしていた任期についても今年度をもって一旦終了となる。皆様方に対しまして、任期中のご協力に対する御礼を兼ねて、守屋健康福祉部長からご挨拶をさせていただきます。

【健康福祉部長】

本日の協議会では、健康すわプランを始めとする議事に対し、全てご承認をいただきまして、ありがとうございます。健康すわプランは、健康行政の中核となる大切な計画である。振り返ると、健康づくり推進協議会は、18名の皆様に、本日を含めて3回の会議を行っていただいた。健康づくり計画策定専門委員会は、9名の方に計4回、食育推進計画専門委員会は、9名の方に計4回、自殺予防対策推進専門委員会は、13名の方に計3回、それぞれの立場で議論をしていただき、本日、この計画が出来上がった。先程、委員の方から、進行管理と推進体制についての話をいただいた。もちろん計画ができて終了ではなく、これからが本番になってくる。PDCAサイクルを回しながら、変化が激しい時代であるので、変化に適応した計画修正を行いながら、5年間動かしていきたいと思う。皆様には、PDCAサイクルの中でご意見をいただきたいと思うので、引続き、ご協力をお願いしたい。また、他の委員の方からは広報に関する話をいただいた。これは大変難しく、伝える広報から、伝わる広報に変えていかなければならないと常々思っている。その中で、紙ベースでは伝えきれない部分があるので、デジタルを上手に使いながら、広報をしていきたいと思っている。特に、今回の計画では、個人の取組や地域の取組という行動方針が出ているため、しっかりと周知をしていくことが我々の役割だと思うので、何かお気づきの点があればご指摘いただければ幸いに思う。皆さんは、それぞれの立場で人の話を聞いたり、相談を受けたりという立場の方が多く見受けられる。人の話を聞くことは大変であり、疲れることであるが、皆さんがやはり健康になって初めて良い相談ができると思うし、良い健康づくりにつながると思われるので、これまでの御礼を兼ねて、皆様の健康をお祈りして、挨拶に代えさせていただきます。1年間ありがとうございました。

6. 閉会（矢崎副会長）

本日は、ありがとうございました。健康という言葉調べたところ、健康とは、単に病気や虚弱でないということだけでなく、身体的、精神的、社会的に調和のとれた状態のことであると書いてあった。健康であるということは、人生の中でもすごく幸福なことであるが、健康を維持することは難しく、生活を見直して改善点がある場合には直さなければならないため、生活習慣を見直すことはとても難しいことだと思う。今回の計画を推進していくのは、行政の力だけでは、とても動かしていくことはできないと思うので、皆様のお力をお借りしながら、計画の推進をしていければと考えている。本日は、お忙しい中、ご審議をいただき、ありがとうございました。

【健康推進課長】

来年度も引き続き委員をお願いする方もいるかと思うが、改めて事務局からお願いをさせていただきます。来年度の当協議会の開催についても、何卒ご協力をお願いしたい。（午後2:45終了）